

五霞町農業委員会最適化推進会議 記録集

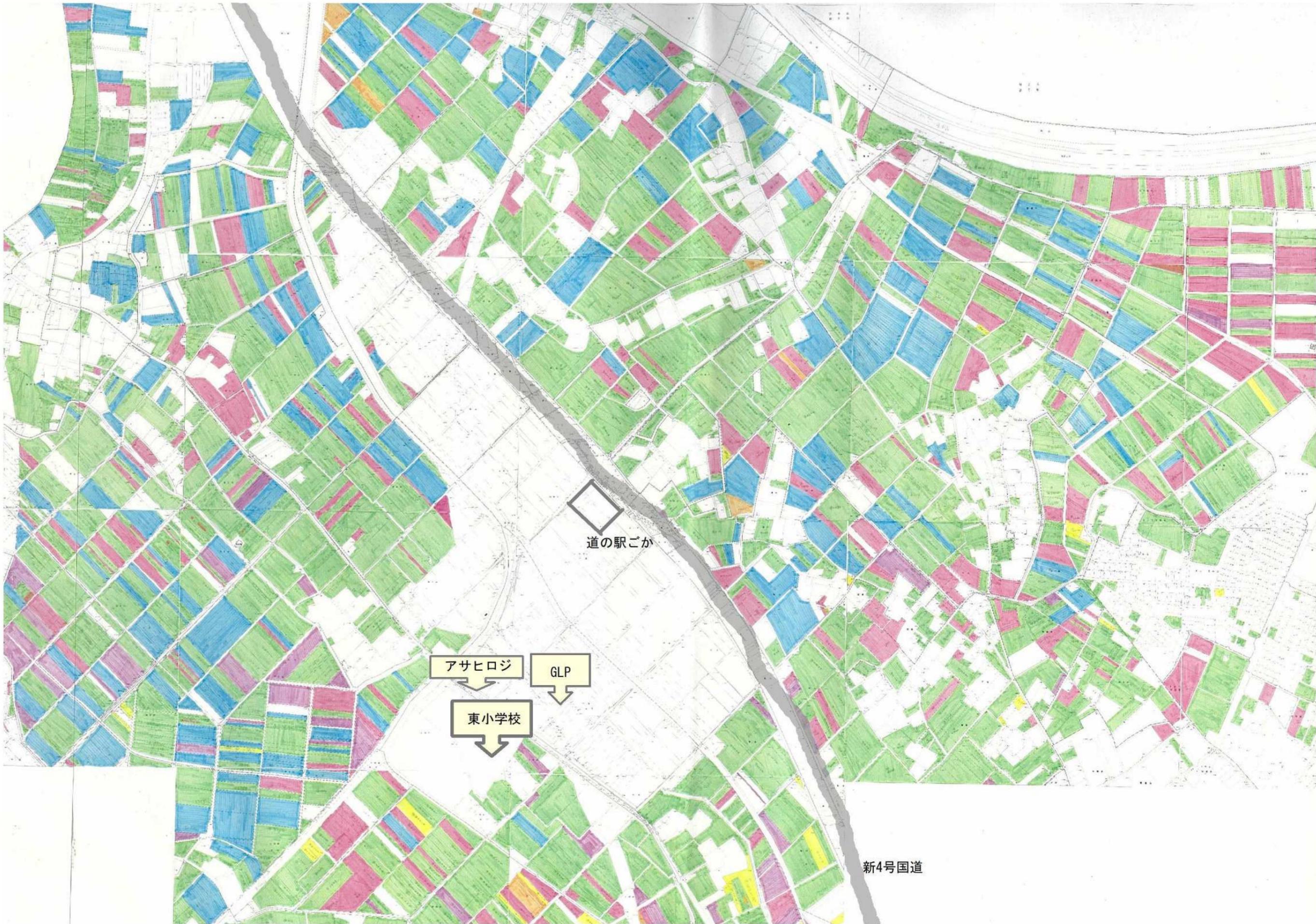


20201125 農業委員会最適化推進会議

この記録集は、2020年11月25日(水)

農業委員会最適化推進会議の記録です。

- 意向調査結果・ヒアリング結果の報告を受けて思ったこと
 - 地図を見て感じたこと
 - こうだったら活動しやすい など
- 感じたことや思いついたことをフセンに書き出し、グループで紹介しあいました。



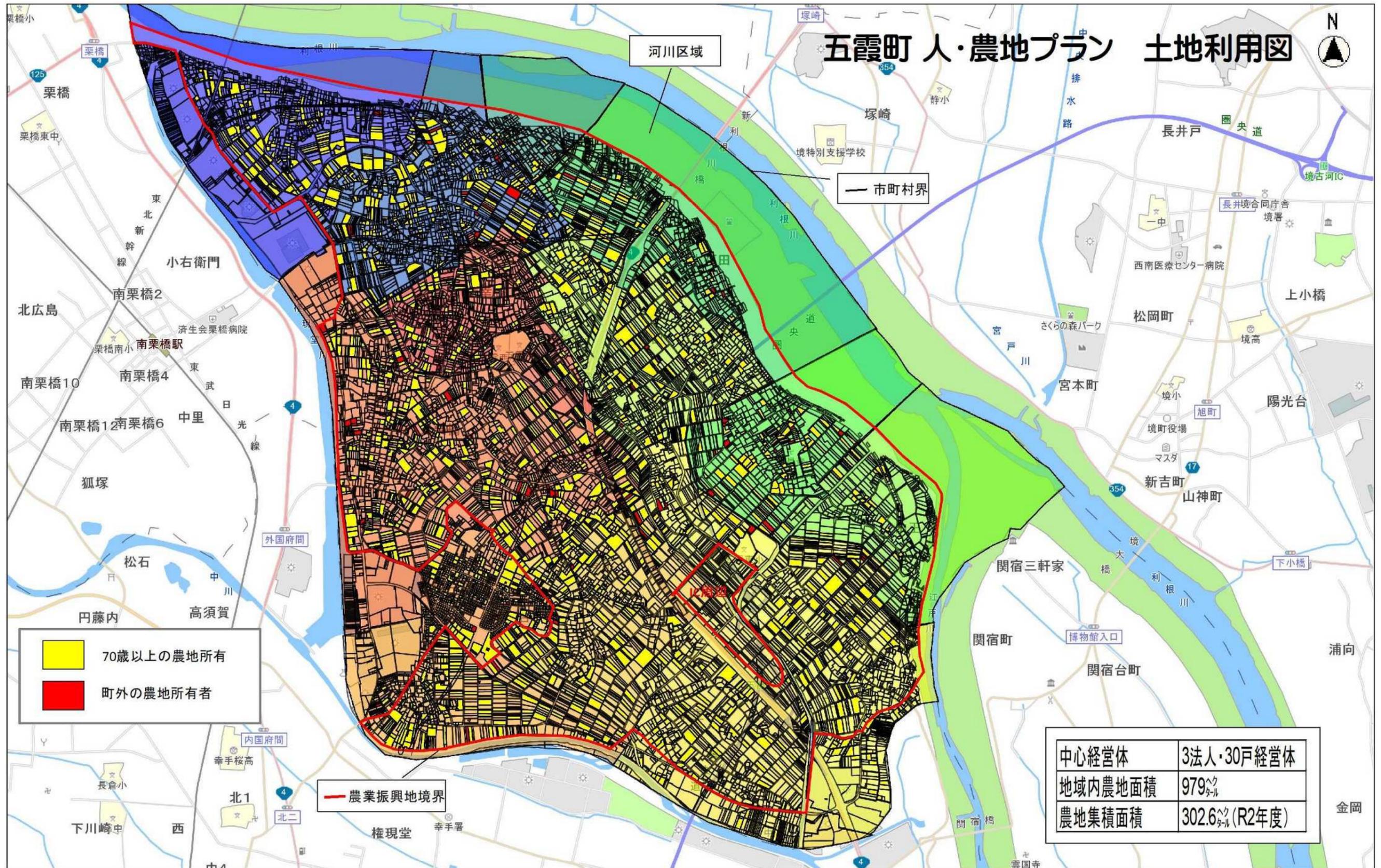
道の駅ごか

アサヒロジ

GLP

東小学校

新4号国道



1班 『現状の地図を見て感じたこと』や『こうだったら活動しやすい』など

小さな農家
だけの共同化

作業道路が狭い

70以上の土地の
農地が少い
貸し農地も多い

収入が安定
している

農地の集約化

自作地を増やすには
人手不足がネック

70以上の土地の
~~所有者~~者が多い!
はゆう

農地を貸して
いる者が多い

自作者が多いのは多い
が5年~10年後には
半分以上が荒になるのを
心配!

70以上の
農地所有が多い

五割農地

65以上の
割合以上で
5年後は、難しい

2班 『現状の地図を見て感じたこと』や『こうだったら活動しやすい』など

個人農家減少

土地は有るが
農作業が出来ない
人が少くなる

自作が思ったより

多いのは以外だ

高令者が多い

もっと担い手の

数が増えればと
思う

認定農業者等の
大農家の耕作面積の
増えつつある。

70以上の

農地所有者が

多く見られる

農家が農地を
貸すのは無理

遊休農地が
場所により
多い

自作でがんばってる
農家さんも以外に多い。

担い手の土地を

集約できそうだと

なあ

③

3班 『現状の地図を見て感じたこと』や『こうだったら活動しやすい』など

70歳以上の所有農地の
10年後がどうなるか

6

米の単価を上げ
ないと無理です

● 老人の町
の区画が大きすぎる

①

はたれが耕作?

町内平均的
高齢者の耕作
が多い

9

● 70才以上
非常に多い

7

か、り、を、ま、と、め、る
②

赤、青が多い

米は安い

緑が半分位

黄は少ない

整備後の田の形がきれい

若い人の
ローコスト
(談話、対話)

若い人
が
効率悪い

3

70才以上の人が多い

8

若い人
が
目も算しない

受知地域が
ラフで「効率
が悪い」

2

集計結果 トップ3

全部で 40 個のフセンが出ました。

第1位 高齢者(70歳以上)の農地や耕作者が多い 9票

第2位 受け手の土地・地域がばらばらで効率が悪い 4票

第3位 区画を大きく・貸し借りをまとめる 2票

他には・・・

- 土地はあるが農作業ができない人が多くなる
- もっと担い手の数が増えればと思う
- 自作で頑張っている農家さんも多く意外だった
- 小さな農家だけの共同化
- 若い人へのフォローが課題(談話・対話) などがありません。

意向調査や担い手へのヒアリングの結果も踏まえ
地区の課題は下記のとおり整理してみました。

- 地区内面積の約半分が 65 歳以上の農業者であり、若者の農業者が減少。高齢化が進んでいる。
- 耕作の維持が不安であるため、新たに就農する担い手が必要。
- 数年はこのまま維持していく、後継者に耕作してもらいたいと考えている方が多い。
- 現在の中心経営体である認定農業者等の約 50%が近い将来、担い手となる後継者はいない状態。
- 概ね集積は進んでいるところもあるが、集約化には至っておらず、ほ場が分散傾向であり効率的な作業ができていないため今後話し合いを重ねて集約を図ることも必要。



五霞町では、一般社団法人会議ファシリテーター普及協会による「会議ファシリテーター養成講座」を多くの職員・町民が受講しているため、話し合いの進め方の理論を理解しているほか、行政主催の「対話の場」・様々な話し合いの場の運営・進行の実践を経験しています。

その強みを活かし、引き続き「農地」だけでなく『これからの五霞町の「農業」』がどんな風になっていったらよいのか(人・農地プラン)をみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。